

沖縄県警本部長 殿

抗 議

2月22日、辺野古新基地建設に反対する「止めよう 国の横暴・工事強行に抗議する 県民集会」が、米軍キャンプ・シュワブ前で開催された。安倍政権の工事強行に対し、沖縄の各地から、全国から5000人が駆けつけた。

名護市長選、沖縄県知事選、衆議院選挙と続く選挙を通じて、沖縄県民は普天間基地の辺野古移設反対、辺野古新基地建設に反対の意思を示したにもかかわらず、民意を無視して工事を強行する政府に対し、県民の怒りは頂点に達している。

このような県民の怒りを結集する集会が整然と執り行われようとしている直前に、米軍によって沖縄平和センターの山城博治議長ら3名が、不当に拘束され、その後、名護警察署に移された。

山城議長らは基地側との混乱を避けるために、基地用地内への侵入を規制していたにもかかわらず、衆人環視の下で基地用地に引きずり込み、それをもって基地内への侵入として拘束した。このような暴挙は断じて許されない。

私たち国労名古屋地方本部は、去る2月7日に第127回拡大地方委員会を開催し、委員会の総意として抗議とともに安倍内閣に辺野古新基地建設の中止を求めたところである。しかし、私たちの民主主義を守れ、沖縄の民意を尊重せよという当たり前の求めに応えるどころか、政府の民意を無視する姿勢をよりいっそう暴力的に露見させた今回の行為は、国民と沖縄県民の怒りをさらに高めることを強く警告する。

今回の米軍と一体となつての不当逮捕・拘留に対し、満腔の怒りをもって抗議する。ただちに拘留を解き、2名を解放することを求める。

2015年2月23日

〒453-0015 名古屋市中村区椿町20番15号

国鉄会館 6階 TEL052-452-0326

国鉄労働組合名古屋地方本部

執行委員長 木股 昭一